

岡山駅交通結節点改善事業

(交通広場拡張整備・自由通路整備)

岡山市都市整備局街路交通課

課長補佐 荒木昭彦

キーワード

- ①広場を鉄道側へ拡張
- ②広場の2層化
- ③立体都市計画制度の活用

岡山駅は、本市の都心部に位置し、山陽新幹線と在来線6路線が乗り入れる中四国地方で最大級の駅であるが、広場内のバスターミナルは満杯状態で、バス乗り場が駅周辺に分散して不便なうえ、鉄道で都心部が東西に分断され、十分な歩行者導線が無い状況であった。

このため、西口交通広場を拡張整備し、バスターミナルをはじめとする交通結節機能を強化し、さらに駅東西広場を連絡する位置に自由通路を新設し、両広場一体利用を可能にするとともに駅東西地域を結ぶ歩行者主動線を確保したもの。

広場拡張は、都心部に位置し用地確保が困難であったため、線路を再編して用地を生み出し、鉄道側に拡張するとともに、一部を2層構造として所要面積を確保した。

自由通路は、立体都市計画制度を活用し、都市施設としての空間を担保した。